

2020年2月10日

共同実験機器施設利用者各位

共同実験機器施設運営委員長 徳永 文稔

担当 塩田・川脇(3970)

機器利用法の変更についてのお知らせ

共同実験機器施設の機器利用につきまして、以下の通り、変更致しますので所属内で周知の上、情報共有をお願い致します。

1. ネット予約機器の追加について

以下の機器の予約は現行のノート記載によるものからネット予約に移行します。各所属にアカウントを発行します。アカウントの発行および詳細は、該当機器フロア担当職員にお問い合わせ下さい。

予約アドレスは <http://analysis.elec.eng.osaka-cu.ac.jp/med.php> です。

利用に際しては必ず予約を入れてから使用願います。

(1) 利用料の算出

利用料は原則予約時間に応じてアカウントの所属に対して請求します。

管理上、利用ノートの記載は現行通りお願いします。

機器を使用しなかった場合でも予約キャンセルをされていない場合には登録データに基づき機器ごとの所定利用料を請求しますのでご注意ください。キャンセルは予約開始時間まで可能です。

(2) 運用開始時期

3月1日予約分より運用を開始し、予約は30日前から可能です。

(3) 該当機器

1階 透過型電顕 (Tallos)、凍結試料作製装置 (Vitrobot)、画像解析ソフト (Amira)

14階 共焦点レーザー顕微鏡 (LSM800)、マイクロダイセクション (LMD7)

15階 共焦点レーザー顕微鏡 (LSM700)

※セルソーター (AriaIIIu) は2019年5月より既にネット予約開始済み

2. 学部間および大学間の大型機器相互利用の開始について

本年度より学部を越えた学内連携を目的とした「大阪市立大学研究基盤共用センター」に参画しました。これにより、杉本地区の大型機器の利用がスムーズになりました。

また、阪大、奈良高専と共に文科省「先端研究基盤共用促進事業 (SHARE)」に採択され、各機関の所有する特定の大型機器の相互利用が可能になりました。利用可能機器等、詳細は塩田、川脇 (15階共同実験機器施設) までお問い合わせください。

3. 共同実験機器施設内の録画について

本年度より施設内のいくつかの機器およびエリアの録画を行っております。録画エリアは明記しておりますが、安全管理 (事故の防止)、法令遵守を目的としたものですのでご理解ください。